

第5回全国計量士大会が神戸で開かれる

参加者は225名、協議主題は「計量士の将来展望」



飯塚幸三会長

計量士の登録更新制の導入に賛同する。①計量士の登録更新制の導入に賛同する。②更新期間は、10年が適当とする意見もあったが、5年が適当であるとする意見が多数であった。③更新時に研修を受けた自己研鑽や組織的研修を通して、また制度改正などを通して、一歩ずつ息の長い取り組みを行うことが、資質向上と職域拡大に繋

が、きちんと一懸念努力を込めて、計量士を取り組んでいく証左であると思う。計量士が自信を持って、時代と社会の変化に対応

「5年ごとの更新、研修受講を要する」東京計量士会溝口義浩氏発言

「計量士の将来展望を」主題にしての自由討論は、あらかじめ発言趣旨を大会事務局に通告、進行責任者の金子一榮氏が会場で発言を求める形で行われ、午後3時から同4時15分の時刻になっても発言を求める者がいる

自由討論のなかで進行責任者の金子一榮氏は、「先ほど事務局から平成19年度に研修を行うとの話がありました。ベテランの知識と経験の豊富な計量士の方々が、若手の計量士の教育研修を行うこともよいのではない

現在、計量士の登録は永久であり、計量士の資質の維持・向上については計量士個人の自己啓発などに依存しており、計量技術革新や計量制度改正など環境変化に対応できているかについては疑問の声も多い。よって、計量士制度の登録に有効期間を設け、その更新の

ためにより一定の研修を受講する制度を設ける必要がある。一例として資格取得者の専門的資質を維持・発展するシステムとして「計量士」には5年毎に資格更新を義務づける。5年更新制度の他の士制度には、「販売士」「臨床心理士」「中小企業診断士」など多数ある。さて計量士の資質の維持向上のための研修については、(社)日本計量振興協会や各地域の計量協会が中心となって立案するものとする。研修場所は全国を何箇所かのブロックに分けてもいいし、または都道府県の計量検定所など地方の都市で実施してもいい。

第57回計量士国家試験が3月4日9時20分から、全国9会場で一斉に行われた。会場は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇の9カ所。

「計量士の将来展望を」主題にしての自由討論は、あらかじめ発言趣旨を大会事務局に通告、進行責任者の金子一榮氏が会場で発言を求める形で行われ、午後3時から同4時15分の時刻になっても発言を求める者がいる

自由討論のなかで進行責任者の金子一榮氏は、「先ほど事務局から平成19年度に研修を行うとの話がありました。ベテランの知識と経験の豊富な計量士の方々が、若手の計量士の教育研修を行うこともよいのではない

現在、計量士の登録は永久であり、計量士の資質の維持・向上については計量士個人の自己啓発などに依存しており、計量技術革新や計量制度改正など環境変化に対応できているかについては疑問の声も多い。よって、計量士制度の登録に有効期間を設け、その更新の

ためにより一定の研修を受講する制度を設ける必要がある。一例として資格取得者の専門的資質を維持・発展するシステムとして「計量士」には5年毎に資格更新を義務づける。5年更新制度の他の士制度には、「販売士」「臨床心理士」「中小企業診断士」など多数ある。さて計量士の資質の維持向上のための研修については、(社)日本計量振興協会や各地域の計量協会が中心となって立案するものとする。研修場所は全国を何箇所かのブロックに分けてもいいし、または都道府県の計量検定所など地方の都市で実施してもいい。

第57回計量士国家試験が3月4日9時20分から、全国9会場で一斉に行われた。会場は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇の9カ所。

「計量士の将来展望を」主題にしての自由討論は、あらかじめ発言趣旨を大会事務局に通告、進行責任者の金子一榮氏が会場で発言を求める形で行われ、午後3時から同4時15分の時刻になっても発言を求める者がいる

自由討論のなかで進行責任者の金子一榮氏は、「先ほど事務局から平成19年度に研修を行うとの話がありました。ベテランの知識と経験の豊富な計量士の方々が、若手の計量士の教育研修を行うこともよいのではない

現在、計量士の登録は永久であり、計量士の資質の維持・向上については計量士個人の自己啓発などに依存しており、計量技術革新や計量制度改正など環境変化に対応できているかについては疑問の声も多い。よって、計量士制度の登録に有効期間を設け、その更新の

ためにより一定の研修を受講する制度を設ける必要がある。一例として資格取得者の専門的資質を維持・発展するシステムとして「計量士」には5年毎に資格更新を義務づける。5年更新制度の他の士制度には、「販売士」「臨床心理士」「中小企業診断士」など多数ある。さて計量士の資質の維持向上のための研修については、(社)日本計量振興協会や各地域の計量協会が中心となって立案するものとする。研修場所は全国を何箇所かのブロックに分けてもいいし、または都道府県の計量検定所など地方の都市で実施してもいい。

第57回計量士国家試験が3月4日9時20分から、全国9会場で一斉に行われた。会場は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇の9カ所。

「計量士の将来展望を」主題にしての自由討論は、あらかじめ発言趣旨を大会事務局に通告、進行責任者の金子一榮氏が会場で発言を求める形で行われ、午後3時から同4時15分の時刻になっても発言を求める者がいる

自由討論のなかで進行責任者の金子一榮氏は、「先ほど事務局から平成19年度に研修を行うとの話がありました。ベテランの知識と経験の豊富な計量士の方々が、若手の計量士の教育研修を行うこともよいのではない

現在、計量士の登録は永久であり、計量士の資質の維持・向上については計量士個人の自己啓発などに依存しており、計量技術革新や計量制度改正など環境変化に対応できているかについては疑問の声も多い。よって、計量士制度の登録に有効期間を設け、その更新の

ためにより一定の研修を受講する制度を設ける必要がある。一例として資格取得者の専門的資質を維持・発展するシステムとして「計量士」には5年毎に資格更新を義務づける。5年更新制度の他の士制度には、「販売士」「臨床心理士」「中小企業診断士」など多数ある。さて計量士の資質の維持向上のための研修については、(社)日本計量振興協会や各地域の計量協会が中心となって立案するものとする。研修場所は全国を何箇所かのブロックに分けてもいいし、または都道府県の計量検定所など地方の都市で実施してもいい。

第57回計量士国家試験が3月4日9時20分から、全国9会場で一斉に行われた。会場は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇の9カ所。

「計量士の将来展望を」主題にしての自由討論は、あらかじめ発言趣旨を大会事務局に通告、進行責任者の金子一榮氏が会場で発言を求める形で行われ、午後3時から同4時15分の時刻になっても発言を求める者がいる

自由討論のなかで進行責任者の金子一榮氏は、「先ほど事務局から平成19年度に研修を行うとの話がありました。ベテランの知識と経験の豊富な計量士の方々が、若手の計量士の教育研修を行うこともよいのではない

現在、計量士の登録は永久であり、計量士の資質の維持・向上については計量士個人の自己啓発などに依存しており、計量技術革新や計量制度改正など環境変化に対応できているかについては疑問の声も多い。よって、計量士制度の登録に有効期間を設け、その更新の

ためにより一定の研修を受講する制度を設ける必要がある。一例として資格取得者の専門的資質を維持・発展するシステムとして「計量士」には5年毎に資格更新を義務づける。5年更新制度の他の士制度には、「販売士」「臨床心理士」「中小企業診断士」など多数ある。さて計量士の資質の維持向上のための研修については、(社)日本計量振興協会や各地域の計量協会が中心となって立案するものとする。研修場所は全国を何箇所かのブロックに分けてもいいし、または都道府県の計量検定所など地方の都市で実施してもいい。

第57回計量士国家試験が3月4日9時20分から、全国9会場で一斉に行われた。会場は、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇の9カ所。

日本計量新報

計測と科学
日本計量協会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
E-MAIL: jma@jma.or.jp
http://www.jma.or.jp

計測と科学

日本計量協会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
E-MAIL: jma@jma.or.jp
http://www.jma.or.jp

Yamaha

清潔な環境を創造する
安全なデジタルインフラソリューション

UDS-1VI/N-WP

天和製機株式会社
TEL: 076-818-8877

今週の主な記事

- ① 第5回全国計量士大会が開かれる
- ② 東日製作所のトルク機器特集
- ③ JQAセミナー、生産統計、入札公告ほか
- ④ 資料・計量行政審議会第3WG
- ⑤ あいち計測座談会 おじんの甘口・辛口
- ⑥ 計量計測器ガイド 社説
- ⑦ 新製品 ニューズ、都計コンセンサほか
- ⑧

トルク機器特集 ②面